

# さこう弘康

## 町政レポート



2010.4月 No.14

発行：さこう弘康 後援会

〒444-0193 額田郡幸田町大字芦谷字丸山5 TEL 0564-56-7727 FAX 0564-56-7918

### 議会報告 3月定例会

平成22年3月1日：開会 ~ 3月23日：閉会

単行議案5件、補正予算関係8件、当初予算関係10件、追加議案2件、計25件が上程され原案どおり可決した。また陳情3件を審議し、1件を採択、2件を不採択した。

### 3月定例会で新年度の当初予算案を審議し、可決・成立

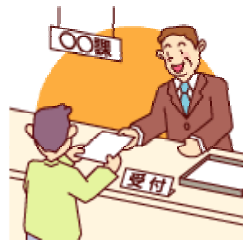
## 「簡素で健全性を確保しつつ未来につなぐ総合予算」

### 総額 126億4,000万円 実質1.5%減

平成22年度の一般会計は、総額 126億4,000万円で、平成21年度と比較し 3億6,000円増 (+2.9%)。新政権の「子ども手当」支給事業関連の 9億110万円の計上を除くと、実質1.5%減となっている。

#### 歳入

- ・町税全体で、前年比 7.1億円減 ( 9.3%) の69億5,100万円
- ・特に、法人町民税は、経済危機による主要企業の不振の影響により8,600万円まで落ち込む見込み (平成20年度の20億円と比較し約1/20の大幅減)。
- ・個人町民税も4.4億円減 ( 19.6%) の18億800万円となっている。



#### 歳出

- ・平成24年3月の開業を目指すJR新駅建設には、7億4,400万円のほか、駅自由通路 2億8,500万円、駐車場整備 (パーク&ライド) 1億1,500万円を計上
- ・幸田駅前再開発 (幸田駅前土地区画整理事業) に、5億376万円 <特別会計>
- ・中央公園用地買い戻しに、1億8,036万円 (最終年) <特別会計> など

#### 新規事業

- ・子ども手当支給事業に、9億110万円 (¥13,000/1月、6・10・2月…)
- ・本光寺の文化財調査費用に、1,780万円 (1月6日 町文化財指定)
- ・高規格救急車の更新に、3,050万円
- ・電動アシスト自転車普及事業に、420万円 (8台レンタル) など



文化財保護・・・深溝本光寺

#### =新年度、復活行事 等=

- ・ジョギング、駅伝大会・・・500万円
- ・風揚げまつり・・・180万円
- ・夏まつり・・・350万円
- ・中学生海外派遣・・・330万円
- ・国際化支援・・・160万円



#### =継続事業 等=

- ・子ども医療費無料・・・1億8,600万円
- ・予防接種・・・1億3,000万円
- ・妊婦・乳児無料検診 (14回)・・・4,580万円
- ・放課後子ども教室・・・1,100万円
- ・住宅太陽光補助・・・1,200万円



2年連続の緊縮型予算・・・人命、文化、教育にかかわる事業を優先!

# 新年度予算関係議案質疑での「さこう弘康」の主な発言

Q：新規の「電動アシスト自転車普及事業 420万円 皆増」とは、どんな事業か？

A：国費200万円で電動アシスト自転車8台をリースし、社会実験を行ない、町民や町内企業集団にレンタルし、安全面・メンテ面等をモニタリングする事業。

Q：「ISO推進事業 43万円 皆減」について、庁舎内の環境対応で、ISO-14001の認証取得をやめ、独自の審査をすることになったいきさつは？  
業務上でPDCAサイクルへの影響や、内部監査で緩みが出ることはないか？

A：経費の軽減のため、ISO-14001の認証取得をやめた。  
今後は、ISO-14001をベースに役場内で取り組みを進め、緩み等が出ないよう、職員の意識と内部監査のレベルアップを推進する。

「環境問題」  
ISO-14001

A:改善 P:計画  
C:評価 D:実行



## 補正予算関係

議会・委員会の場で、皆さんの声を代弁し、住民目線で提言！

平成21年度幸田町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ13億3,025万2,000円を追加し、平成21年度予算の総額を145億8,447万9,000円とする予算案を、全員賛成で原案どおり可決しました。

その他特別会計補正予算

幸田町土地取得特別会計をはじめ7議案についても、全員賛成で原案どおり可決しました。

## 3月3日 一般質問に登壇 <質問の要旨>

### 本町も『事業仕分け』導入を！

本町の財政状況は、企業収益や個人所得が低迷し、厳しい財政状況にあり、スリムで、町民にわかりやすい、開かれた財政運営を問う。



Q：新年度予算編成にあたり、限られた財源を踏まえて、「更なる選択と集中」を進める上での考え方は？

A：一定の社会基盤を整備しつつ、事業の切捨てをせず、ムダを省き、住民サービスを低下させないという考え方で進めていく。

Q：今より行政を透明にし、行政の頑張りを示すためにも、今が「事業仕分け」を導入をするタイミングだと思う。「まずは、やってみる！」という、町長による強いリーダーシップでの取り組みが、必要と考えるが、本町においても、「事業仕分け」の導入に取り組む考えは？

A：【町長】「前向きに導入を検討する」

住民に、開かれたわかりやすい行政を進めながら、前向きに検討していく！

### 自転車の交通安全対策を急げ！

自転車の事故防止対策と通行環境の整備を質した。



Q：事故防止対策のソフト面とハード面の取り組み強化施策は？

A：ソフト面では、小中学校でのマナー指導、高齢者交通安全教室等の開催。  
ハード面では、移動しやすい交通戦略で環境を整備推進する。

Q：全国の多くの自治体で、3人乗り自転車の貸し出しサービスが急拡大しているが、3人乗り自転車の貸し出しサービスの考えはあるか？

A：道路環境が整っていない現状に考慮し、現時点では、貸し出しや購入補助金の考えはない。



## 「くらしの相談」

地域での困りごと、町政に対するご意見・ご要望等、お気軽に「さこう弘康くらしの相談室」をご利用ください。

直接電話でもお気軽に！ ホームページからのメールも、ご利用ください！

連絡先(事務所) Tel : 0564-56-7727  
Fax : 0564-56-7918

「さこう弘康」で 検索 してください。

お願い：町政レポート配布するにあたり、氏名や住所の間違い、変更がありましたら上記までご連絡ください。